

2025 年度（対象年度：2024） 自己点検・評価シート

組 織 名	教職センター
責 任 者	落合 雄彦

基準 10	大学運営・財務 (1) 大学運営
-------	------------------

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
	記入なし

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項
なし

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 〈大学基準協会の「評価項目」に相当〉	点検項目 〈大学基準協会の「評価の視点」に相当〉	自己評価 (現状)
1017	教職課程の運営を適切かつ効果的に行うため、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	①教科専門の授業科目を担当する教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員・事務職員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのSDが確実に実施されているか。	A
1018	教職課程運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。	①教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか。	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
--

【学部等組織（教職センター）】

<p>1017① 教職課程担当教員および教職センター職員は、文部科学省による教職課程にかかる各種説明会に適宜参加して法令改正等の最新情報を詳細に得ている。それら最新情報は、随時センター内で共有し、適切な措置を講じるようにしている [1017 ア] [1017 イ]。また、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）や全国私立大学教職課程協会（全私教協）など、本学が加盟している関連団体が主催する各種勉強会・研究大会等にも必要に応じて教員・事務職員がSD活動の一環として参加し、情報収集に努めて研鑽を諮り、教職課程を担う教員・事務職員として望ましい資質・能力を身に付けるようにしている [1017 ウ] [1017 エ]。</p> <p>『「教職に関する科目」担当者会議』については、2022 年度まではコロナ禍のため開催を見送っていたが、教職課程の運営方針に定める「教員免許取得に関わる科目担当者」と本学教職課程担当者との連携に務めることで、教職課程に関する共通理解をはかる」ことの実現のため、2023 年 4 月に対面での実施を再開している。2024 年度末においても、同方針から『「教職に関する科目」担当者会議』の企画を行い、2025 年 4 月に対面にて開催した [1017 オ]。</p> <p>1018① 教職センターは、本学の深草・大宮・瀬田各キャンパスに設置されている [1018 ア]。各キャンパスの教職センターには、教職課程担当教員、教職進路指導員、事務職員が配置されており、常に情報共有を行い、教職課程の適切な運営を図るとともに、学生の指導に努めている [1018 イ] [1018 ウ]。</p>

長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》*伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
1017	ア	文部科学省より「令和 6 年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会」開催案内文書
1017	イ	令和 6 年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会 次第
1017	ウ	京私教協 2024 年度第 1 回教員免許事務勉強会開催要項
1017	エ	【情報共有】カウンセリング協会からのご案内
1017	オ	2024 年度「教職に関する科目」担当者会議レジュメ
1018	ア	教職センターウェブサイト「教職センター組織」 https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/kyoshoku/about/philosophy.html#org

1018	イ	教職センター規程
1018	ウ	教職進路指導員任用規程

II. 評価結果

総評	
1017	<p>教員・事務職員ともに、SD活動の一環として各種勉強会・研究大会（文部科学省による教職課程にかかる各種説明会、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）や全国私立大学教職課程協会（全私教協）など）に参加し、教職課程を担う者として望まれる資質・能力を身に付けるよう努めていると評価できる。</p> <p>また、2022年度まではコロナ禍のため『「教職に関する科目」担当者会議』を開催していなかったが、教職課程の運営方針に定める「教員免許取得に関わる科目担当者と本学教職課程担当者との連携に務めることで、教職課程に関する共通理解をはかる」ことの実現のため、2023年4月に対面で開催したこと、2024年度末においても、同方針から『「教職に関する科目」担当者会議』の企画を行い、2025年4月に対面にて開催したことは評価できる。</p> <p>以上より、教職課程の運営を適切かつ効果的に行うため、事務職員、教員の意欲及び資質の向上を図るための取り組みに努めていると評価できる。</p>
1018	<p>教職センターの事務組織は各キャンパスに設置している。各教職センターには、教職課程担当教員、教職進路指導員及び事務職員を配置し、それぞれの教職課程を運営するとともに、学生の指導に努めている。</p> <p>以上より、教職課程運営に必要な事務組織を設置し、適切に機能していると評価できる。</p>
長所・特色	
課題事項 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載	